

G8

病院 ID :

日付 : 年 月 日 評価者 :

G8 Screening tool			
	質問項目	該当回答項目	点数
A	過去 3 か月間で食欲不振、消化器系の問題、そしゃく・嚥下困難などで食事が減少しましたか	0 : 著しい食事量の減少 1 : 中等度の食事量の減少 2 : 食事量の減少なし	
B	過去 3 か月間で体重の減少はありましたか	0 : 3 kg 以上の減少 1 : わからない 2 : 1~3 kg の減少 3 : 体重減少なし	
C	自力で歩けますか	0 : 寝たきりまたは車椅子を常時使用 1 : ベッドや車いすを離れられるが、歩いて外出できない 2 : 自由に歩いて外出できる	
E	神経・精神的問題の有無	0 : 高度の認知症または鬱状態 1 : 中程度の認知障害 2 : 精神的問題なし	
F	BMI 値	0 : 19 未満 1 : 19 以上 21 未満 2 : 21 以上 23 未満 3 : 23 以上	
H	1 日に 4 種類以上の処方薬を飲んでいませんか	0 : はい 1 : いいえ	
P	同年齢の人と比べて、自分の健康状態をどう思いますか	0 : 良くない 0.5 : わからない 1 : 同じ 2 : 良い	
	年齢	0 : 86 歳以上 1 : 80 歳~85 歳 2 : 80 歳未満	
	合計点数(0~17)		

本質問紙は G8 原版をもととし Mini Nutritional Assessment(MNA®)日本語版より該当する項目を引用しています。作成にあたり国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の革新的がん医療実用化研究事業の支援を受けています。

手段的日常生活活動（IADL）尺度

病院 ID : _____ 日付 : _____ 年 _____ 月 _____ 日 評価者 : _____

項目	採点
A 電話を使用する能力	
1. 自分から電話をかける（電話帳を調べたりダイヤル番号を回すなど）	1
2. 2-3のよく知っている番号をかける	1
3. 電話に出るが自分からかけることはない	1
4. 全く電話を使用しない	0
B 買い物	
1. すべての買い物は自分で行う	1
2. 小額の買い物は自分で行える	0
3. 買い物に行くときはいつも付き添いが必要	0
4. まったく買い物はできない	0
C 食事の準備	
1. 適切な食事を自分で計画し準備し給仕する	1
2. 材料が供与されれば適切な食事を準備する	0
3. 準備された食事を温めて給仕する、あるいは食事を準備するが適切な食事内容を維持しない	0
4. 食事の準備と給仕をしてもらう必要がある	0
D 家事	
1. 家事を一人でこなす、あるいは時に手助けを要する（例：重労働など）	1
2. 皿洗いやベッドの支度などの日常的仕事はできる	1
3. 簡単な日常的仕事はできるが、妥当な清潔さの基準を保てない	1
4. 全ての家事に手助けを必要とする	1
5. 全ての家事にかかわらない	0
E 洗濯	
1. 自分の洗濯は完全に行う	1
2. ソックス、靴下のゆすぎなど簡単な洗濯をする	1
3. 全て他人にしてもらわなければならない	0
F 移送の形式	
1. 自分で公的機関を利用して旅行したり、自家用車を運転する	1
2. タクシーを利用して旅行するが、その他の公的輸送機関は利用しない	1
3. 付き添いがいたり皆と一緒になら公的輸送機関で旅行する	1
4. 付き添いか皆と一緒に、タクシーか自家用車に限り旅行する	0
5. まったく旅行しない	0
G 自分の服薬管理	
1. 正しいときに正しい量の薬を飲むことに責任がもてる	1
2. あらかじめ薬が分けて準備されていれば飲むことに責任がもてる	0
3. 自分の薬を管理できない	0
H 財産取り扱い能力	
1. 経済的問題を自分で管理して（予算、小切手書き、掛け金支払い、銀行へ行く）一連の収入を得て、維持する	1
2. 日々の小銭は管理するが、預金や大金などでは手助けを必要とする	1
3. 金銭の取り扱いができない	0

手段的 ADL*（Lawton の評価法の女性用）

* Lawton MP, Brody EM. Assessment of older people: self-maintaining and instrumental activities of daily living. Gerontologist. 1969;9:179-86.

チャールソン併存疾患指数 (Charlson Comorbidity Index)

オリジナル・バージョン*より JCOG にて一部改変

病院 ID :

日付 :

年

月

日

評価者 :

		なし	あり
1	心筋梗塞 (心筋梗塞の既往も含む)	0	1
2	うっ血性心不全 (労作時呼吸困難、夜間呼吸苦、薬物療法に反応した例)	0	1
3	末梢血管疾患 (間欠性跛行、バイパス術後、壊疽、未治療の胸腹部大動脈瘤 (6 cm 以上) を含む)	0	1
4	脳血管障害 (後遺症のほぼない脳血管障害既往、一過性脳虚血発作)	0	1
5	認知症	0	1
6	慢性肺疾患 (軽労作で呼吸困難を生じるもの)	0	1
7	膠原病 (全身性エリテマトーデス、多発性筋炎、混合性結合組織病、リウマチ性多発筋痛症、中等度以上の関節リウマチ)	0	1
8	消化性潰瘍 (消化性潰瘍の治療が必要な患者)	0	1
9	軽度肝疾患 (門脈圧亢進を伴わない軽度の肝硬変、慢性肝炎)	0	1
10	糖尿病 (3 大合併症なし、食餌療法のみは除く)	0	1
11	片麻痺 (対麻痺も含む。脳血管障害に起因していなくても可)	0	2
12	中等度 - 高度腎機能障害 (Cre \geq 3 mg/dl、透析中、腎移植後、尿毒症)	0	2
13	糖尿病 (3 大合併症のいずれかあり、糖尿病性ケトアシドーシスや糖尿病性昏睡での入院歴)	0	2
14	固形がん (過去 5 年間に明らかに転移なし) 注 1)	0	2
15	白血病 (急性白血病、慢性白血病、真性赤血球増加症) 注 1) 注 2)	0	2
16	リンパ腫 (リンパ肉腫、マクログロブリン血症、骨髄腫含む) 注 1) 注 2)	0	2
17	中等度 - 高度肝機能障害 (門脈圧亢進を伴う肝硬変)	0	3
18	転移性固形腫瘍注 1)	0	6
19	AIDS (acquired immunodeficiency syndrome)	0	6

合計

137

注 1) がんを対象とする臨床試験では、当該試験の対象となるがん種を、固形がん、白血病、リンパ腫、転移性固形腫瘍に含めない。

注 2) 治癒が得られたと判断される場合は併存疾患と扱わない。

※ Charlson ME, Pompei P, Ales KL, MacKenzie CR. A new method of classifying prognostic comorbidity in longitudinal studies: development and validation. J Chronic Dis. 1987;40(5):373-383. doi: 10.1016/0021-9681(87)90171-8. M Extermann, Measuring comorbidity in older patients, Eur J Cancer. 2000 Mar;36(4):453-71

チャールソン併存疾患指数 (Charlson Comorbidity Index)

アップデート・バージョン*より JCOG にて一部改変

病院 ID :

日付 : 年 月 日 評価者 :

		なし	あり
1	心筋梗塞 (心筋梗塞の既往も含む)	0	0
2	うっ血性心不全 (労作時呼吸困難、夜間呼吸苦、薬物療法に反応した例)	0	2
3	末梢血管疾患 (間欠性跛行、バイパス術後、壊疽、未治療の胸腹部大動脈瘤 (6 cm 以上) を含む)	0	0
4	脳血管障害 (後遺症のほぼない脳血管障害既往、一過性脳虚血発作)	0	0
5	認知症	0	2
6	慢性肺疾患 (軽労作で呼吸困難を生じるもの)	0	1
7	膠原病 (全身性エリテマトーデス、多発性筋炎、混合性結合組織病、リウマチ性多発筋痛症、中等度以上の関節リウマチ)	0	1
8	消化性潰瘍 (消化性潰瘍の治療が必要な患者)	0	0
9	軽度肝疾患 (門脈圧亢進を伴わない軽度の肝硬変、慢性肝炎) 注 4)	0	2
10	糖尿病 (3 大合併症なし、食餌療法のみは除く) 注 3)	0	0
11	片麻痺 (対麻痺も含む。脳血管障害に起因していなくても可)	0	1
12	中等度 - 高度腎機能障害 (Cre \geq 3 mg/dl、透析中、腎移植後、尿毒症)	0	1
13	糖尿病 (3 大合併症のいずれかあり、糖尿病性ケトアシドーシスや糖尿病性昏睡での入院歴) 注 3)	0	1
14	固形癌 (過去 5 年間に明らかに転移なし) 注 1) 注 5) 白血病 (急性白血病、慢性白血病、真性赤血球増加症) 注 1) 注 2) 注 5) リンパ腫 (リンパ肉腫、マクログロブリン血症、骨髄腫含む) 注 1) 注 2) 注 5)	0	2
15	中等度 - 高度肝機能障害 (門脈圧亢進を伴う肝硬変) 注 4)	0	4
16	転移性固形腫瘍 注 1) 注 5)	0	6
17	AIDS (acquired immunodeficiency syndrome)	0	4

合計

24

注 1) がんを対象とする臨床試験では、当該試験の対象となるがん種を、固形がん、白血病、リンパ腫、転移性固形腫瘍に含めない。

注 2) 治癒が得られたと判断される場合は併存疾患と扱わない。

注 3) 10 (糖尿病 (3 大合併症なし、食餌療法のみは除く)) と 13 (糖尿病 (3 大合併症のいずれかあり、糖尿病性ケトアシドーシスや糖尿病性昏睡での入院歴)) はどちらかしか選択できない

注 4) 9 (軽度肝疾患) と 15 (中等度 - 高度肝機能障害) はどちらかしか選択できない

注 5) 14 (固形癌、白血病、リンパ腫) と 16 (転移性固形腫瘍) はどちらかしか選択できない

* Charlson ME, Pompei P, Ales KL, MacKenzie CR. A new method of classifying prognostic comorbidity in longitudinal studies: development and validation. J Chronic Dis. 1987;40(5):373-383. doi: 10.1016/0021-9681(87)90171-8.
M Extermann, Measuring comorbidity in older patients, Eur J Cancer. 2000 Mar;36(4):453-71

居住状況※

病院 ID :

日付 : 年 月 日 評価者 :

Q : 以下の選択肢のなかで、あなたの居住状況に一番近いのはどれですか？

- 自宅（独居）
- 自宅（誰かと同居）
- 施設（例：高齢者向け住宅や介護施設など）

※ EORTC Minimum Dataset より抜粋（以下、原文）

Pallis AG, Ring A, Fortpied C, et al. Eortc workshop on clinical trial methodology in older individuals with a diagnosis of solid tumors. *Ann Oncol.* 2011;22(8):1922–1926.

3.4 Social situation

To be completed by: Clinician or trained coder.

Question to the patient:

Which of the following statements best describes where you live?

- At home by myself.
- At home with someone.
- In institutional care (for example residential home or nursing home).

病院 ID : _____

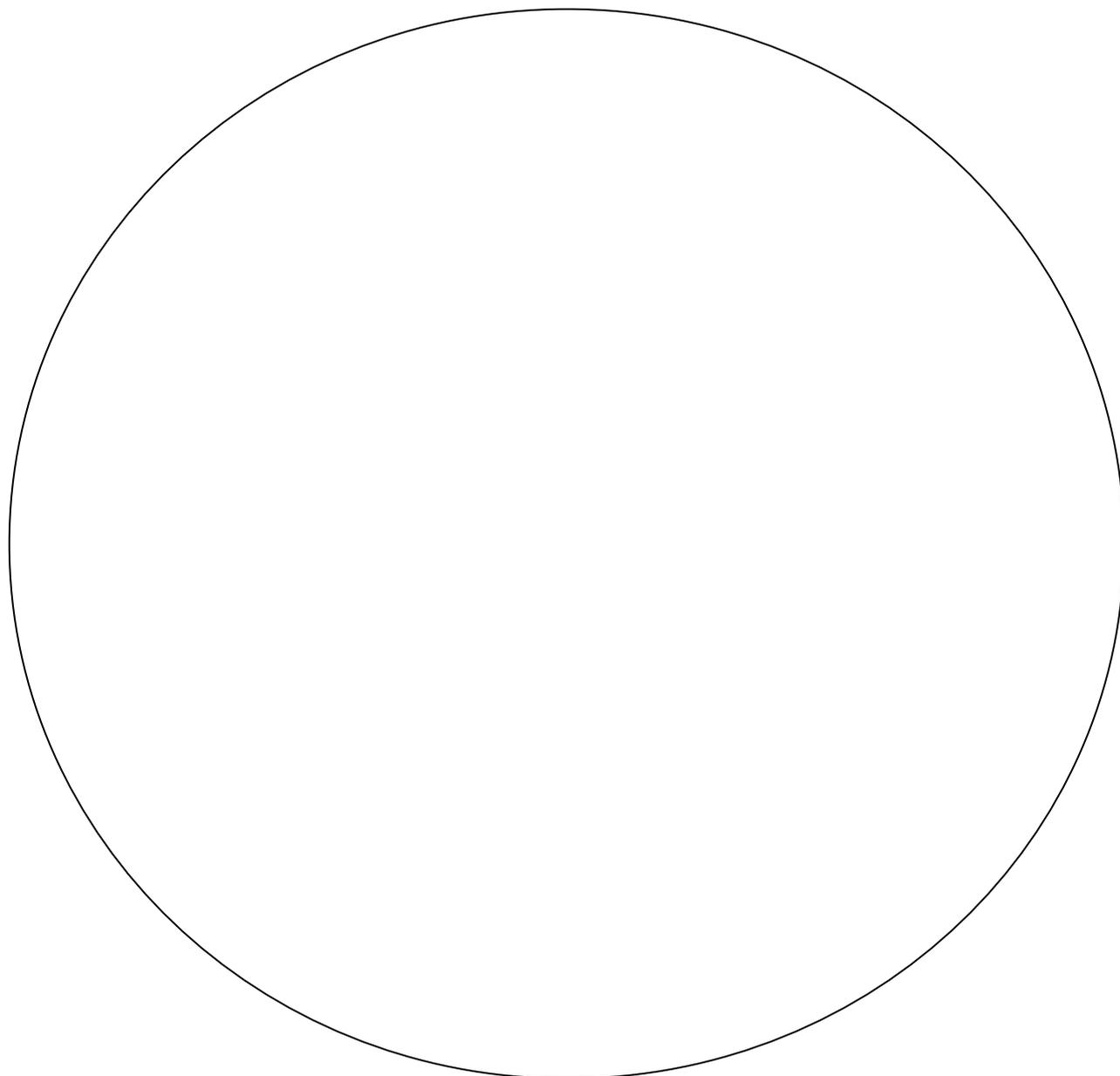
日付 : _____ 年 _____ 月 _____ 日 開始時間 : _____ 時 _____ 分

実施者 : _____

番号	施行時の教示	スコアリング / 教示	得点
1	「私がこれから3つの単語を言いますので、それを覚えてください。その単語は（単語リストから選択）です。では、繰り返して言ってください」	<input type="checkbox"/> Version1 <input type="checkbox"/> Version3 <input type="checkbox"/> Version5 ・くるま ・いちご ・つばめ ・ねこ ・うめ ・すず ・たいよう ・でんしゃ ・はやし <input type="checkbox"/> Version2 <input type="checkbox"/> Version4 <input type="checkbox"/> Version6 ・つばめ ・きって ・ひよこ ・うみ ・そら ・つき ・きって ・くるま ・たたみ	
2	「時計を描いてもらいます。」 「円の中にすべての数字を描いてください。」 (描き終わったら) 「11時10分（もしくは8時20分）を示す針を描いてください。」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白紙もしくは予め円（円の一方）が印刷された紙を使用する ・ 数字配置がほぼ正しく、針が11と2（または4と8）を指しているものを正答反応とする ・ 課題施行中、時計は患者の目に触れない場所に設置する ・ CDT（時計描画）を拒否した場合、基準から外れたものとして記録する（0点） ・ <u>3分以内に終わらない場合は、その時点で次の課題に移る</u> 	0 2
3	「さっき覚えていただいた3つの単語はなんでしたか？」	※ヒントは与えない	0 1 2 3
		合計	/5
		認知症：0（陰性） 1（陽性）	0 1

スコアリング

3 単語再生	認知症陰性
1~2 単語再生 + CDT 正常	認知症陰性
1~2 単語再生 + CDT 特異	認知症陽性
0 単語再生	認知症陽性



本質問紙の作成にあたり国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の革新的がん医療実用化研究事業の支援を受けています。